

令和6年12月18日

南箕輪村長 藤 城 栄 文 様

南箕輪村議会議長 原 源 次

長野県南信工科短期大学校就学者に対する補助金等支給 を求める要望書

総務経済常任委員会では、村境視察時に行われた長野県南信工科短期大学校（以下「工科短大」という。）学校関係者との懇談会において、本村住民に対する奨学金、助成金等独自の補助金制度がないことが話題になり、このことについて検討した。

工科短大は、2016年地域社会を支える「ものづくりのスペシャリスト」を育成するために設置され、以降卒業生の多くが地域のものづくり企業へ就職している。本村をみても出身者を超える数の卒業生が本村所在企業へ就職しており地域貢献度が高い。一方、伊那谷各市町村が独自の就学者支援制度を設けているが、本村住民に対する村の支援制度はなく、住民からも補助金制度を求める声が上がっている。

補助金支給は、総合戦略基本目標1「立地特性を生かした職住近接のむらづくり」の施策としてコストパフォーマンスは高いと考えられ、村による工科短大就学者への補助金等支援について下記のとおり求める。

記

1. 「長野県南信工科短期大学校就学助成金【返済義務なし】」制度の創設を早急に検討し実現されたい。

以上